



総務省
大臣官房総括審議官
武井 俊幸

総務省では、本年6月27日に情報通信審議会より、「イノベーション創出実現に向けた情報通信技術政策の在り方」について、最終答申をいただきました。本答申では、我が国がイノベーション創出のフロントランナーとなるため、国に期待される具体的な取組方策と、取り組むべき技術分野などが示されています。総務省では、本答申を踏まえ、イノベーション創出実現に向けて積極的な取組を展開して参ります。

その一環として、総務省が推進する最先端の情報通信技術の研究開発がもたらすイノベーションの可能性を提示し、また情報共有や意見交換を行うことで、研究開発成果の社会還元を図る一助としていただくことを目的として、『ICTイノベーションフォーラム2014』を開催いたします。本フォーラムでは、有識者をお招きしての講演や総務省による新たな研究開発施策の検討状況をご紹介しますとともに、総務省が推進し平成25年度に終了した57件の研究開発プロジェクトの成果を発表いたします。

本フォーラムが、皆様方の今後の事業展開や研究開発のより一層の発展のお役に立てることを願っております。

特別講演



「言葉の壁を超える
グローバルコミュニケーション」

独立行政法人情報通信研究機構
ユニバーサルコミュニケーション研究所 研究所長

木俣 豊

イノベーター スペシャルトーク



「ビッグデータ処理技術の進化と
エッジヘビーコンピューティング」

株式会社 Preferred Infrastructure
代表取締役 最高経営責任者

西川 徹

総務省の取り組みの紹介

「総務省における研究開発施策の
検討状況について」

総務省情報通信国際戦略局
技術政策課長

野崎 雅稔

開催要領

■ 開催目的

総務省では、社会経済ニーズに応え、イノベーションを実現する情報通信分野の研究開発の推進に戦略的に取り組んでいます。

本フォーラムは、総務省が推進する研究開発のうち、「ICT重点技術の研究開発」及び「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)」について、研究開発成果に関する講演や展示等を行うことにより、その利活用や社会展開を推進することを目的としています。

■ 日 時

平成26年10月7日(火)
10:00~17:00(開場9:30)

■ 会 場

幕張メッセ 国際会議場3階301~304会議室
(CEATEC JAPAN 2014と同時開催)

■ 参加費

無料

■ 参加方法

<http://www.keieiken.co.jp/if2014/>

より必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
(事前にお申し込みを頂くと、当日は参加登録証を受けにお出し頂くだけで入場できます。)
当日の来場者にはCEATEC JAPAN 2014の入場券を配布いたします。
ただし数に限りがありますのでご了承ください。



■ 申込締切

平成26年10月3日(金) 17:00

■ 問い合わせ

ICTイノベーションフォーラム2014事務局
(株式会社NTTデータ経営研究所内)
電子メール if2014@keieiken.co.jp
電話:03-5213-4295 FAX:03-3221-7022

会場のご案内

会場:幕張メッセ 国際会議場
千葉市美浜区中瀬2丁目1番 電話:043-296-0001



交通アクセス ○JR京葉線 海浜幕張駅下車 徒歩約5分
○JR総武線 幕張本郷駅下車 バス約17分

ICTイノベーションフォーラム
2014

ICT Innovation Forum



主催:総務省
協力:一般社団法人 電子情報通信学会 一般社団法人 日本医療情報学会

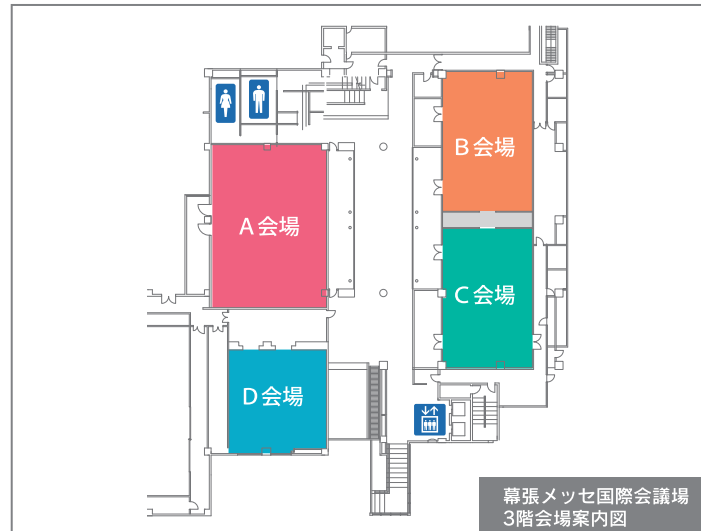
日時:平成26年10月7日(火) 10:00~17:00(開場 9:30)

会場:幕張メッセ 国際会議場 3階 301~304会議室

10:00~10:10	開会	総務省大臣官房総括審議官 武井 俊幸	A会場
10:10~10:40	特別講演「言葉の壁を超えるグローバルコミュニケーション」	独立行政法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 研究所長 木俣 豊	A会場
10:45~15:40	オールラウンドセッション／ポスターセッション（詳細プログラムは下記をご参照ください。）		A会場 B会場 C会場
15:40~16:20	イノベーター スペシャルトーク「ビッグデータ処理技術の進化とエッジヘビーコンピューティング」	株式会社 Preferred Infrastructure 代表取締役 最高経営責任者 西川 徹	A会場
16:20~16:35	総務省の取り組みの紹介「総務省における研究開発施策の検討状況について」	総務省情報通信国際戦略局技術政策課長 野崎 雅稔	A会場

A会場			
10:45~11:45 ICT重点技術の研究開発オールラウンドセッション(午前の部) (各20分)			
ICT重点技術の研究開発			
発表番号	研究開発課題名	研究代表者	
A-1	ネットワーク仮想化技術の研究開発 (ネットワーク仮想化基盤技術の研究開発)	日本電気株式会社	西原 基夫
A-2	膨大な数の極小データの効率的な配送基盤技術の研究開発	株式会社KDDI研究所	中島 康之
A-3	ロバストなビッグデータ活用基盤技術の研究開発	株式会社Skeed	北林 巧巳
12:50~15:10 ICT重点技術の研究開発オールラウンドセッション(午後の部) (各20分)			
A-4	電磁波エネルギー回収技術の研究開発	株式会社国際電気通信 基礎技術研究所	小林 聖
A-5	先進的ICT国際標準化推進事業 (次世代クラウド技術を利用した災害時における情報伝達のための端末間連携技術)	日本電信電話株式会社	片岡 良治
A-6	「モノのインターネット」時代の通信規格の開発・実証	日本電気株式会社	西原 基夫
A-7	大規模災害時に被災地の通信能力を緊急増強する技術の研究開発 (大規模通信混雑時における通信処理機能のネットワーク化に関する研究開発)	株式会社NTTドコモ	清水 敬司
A-8	大規模災害時に被災地の通信能力を緊急増強する技術の研究開発 (被災地への緊急連絡及び複数接続運用可能な移動式ICTユニットに関する研究開発)	日本電信電話株式会社	高原 厚
A-9	大規模災害時に被災地の通信能力を緊急増強する技術の研究開発 (災害時避難所等における局所的同報配信技術の研究開発)	日本電気株式会社	西原 基夫
A-10	災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発	東北大学	末松 憲治

D会場	
10:45~16:40	コミュニケーションスペース 研究開発制度や各種学会情報の紹介を行っております。休憩場所としてもご利用ください。



B会場			
10:45~11:35 SCOPE オールラウンドセッションⅠ (各4分)			
地域活性化			
発表番号	研究開発課題名	研究代表者	
B-1	市民の交通行動変容を促進する持続可能な生活交通情報 フィードバックシステムの研究開発	東京大学	池内 克史
B-2	家族地域連携を実現する生活密着型サイバーフィジカル リビングルームの実践的運用開発	慶應義塾大学	杉浦 一徳
B-3	公共交通機関が未発達な地域における高感度感測学習支援システムの研究開発	山梨県立大学	八代 一浩
B-4	地域活性化のための共生型モデルシミュレーションの研究開発	株式会社MINAMI	南 和彦
B-5	地域の魅力の再発見と共有に基づく街体験型サービス技術に関する研究開発	株式会社エス・ビー・シー	杉野 静弘
農業			
B-6	地域農産物ブランド化を支援する分光型クラウドセンサネットワーク の農場「現場」実証試験	信州大学	齊藤 保典
B-7	センサネットワークを活用した植物工場における自動計画生産システムの研究開発	三重大学	亀岡 孝治
資源			
B-8	ICTを用いた北方型住宅向け再生可能エネルギー活用システムに関する研究開発	釧路工業高等専門学校	川村 淳浩
B-9	沖縄沿岸海洋環境観測のための海洋レーダ技術の研究開発	琉球大学	藤井 智史
安心・安全を守る情報セキュリティの強化			
B-10	ナノフォトニクスによる情報セキュリティ技術の創成	東京大学	大津 元一
B-11	クライアントおよびサーバ双方からの情報漏えいを防止するアクセス制御技術の研究開発	独立行政法人 産業技術総合研究所	須崎 有康
B-12	暗号機器のサイドチャネル攻撃に対する安全設計に関する研究開発	岡山大学	五百旗頭 健吾
13:40~14:30 SCOPE オールラウンドセッションⅢ (各4分)			
医療・介護・健康			
B-13	スマートフォンとモバイルネットワークを用いた 弱者見守りシステムTLIFESの実現	名城大学	渡邊 晃
B-14	「どこでも高度医療」実現のための超臨場感コミュニケーション 技術の研究開発	立命館大学	田中 弘美
B-15	足底面へ圧力分布をもたらし新たな力触覚提示デバイス	大分大学	菊池 武士
B-16	脳活動・自律神経活動の融合解析によるハイブリッド型BCIの研究開発	東京大学	小谷 潔
B-17	自律型健康増進・生活支援のための地域サポート技術の開発検証	北海道大学	小笠原 克彦
B-18	ICTを用いた集合住宅高齢者生活支援システムの研究開発	地方独立行政法人 青森県産業技術センター	柳引 正剛
B-19	知的画像処理の活用による高度歯科遠隔診断システムの研究開発	朝日大学	勝又 明敏
B-20	運動中のスポーツ選手からのリアルタイム・バイタルデータ収集 システムの研究開発	株式会社シンセンス	奥畑 宏之
B-21	在宅高齢者の「こころ」を支えるICTシステムの開発	京都工芸繊維大学	桑原 教彰
B-22	スマートテレビを活用した独居高齢者等の安心・安全ネットワーク システムの志布志モデルの実証実験研究	株式会社鹿児島TLO	藤田 晋輔
B-23	チーム医療および地域医療機関間の情報共有を便利にするための 精神科アウトカム管理システム(PSYCHOMS [®])の標準化と 市販化のための研究開発	徳島大学	谷岡 哲也

C会場			
12:50~13:40 SCOPE オールラウンドセッションⅡ (各4分)			
G空間情報の活用などオープンデータの推進			
発表番号	研究開発課題名	研究代表者	
C-1	サイバーフィジカル3D 協調インタラクション環境の研究開発	東北大学	北村 喜文
C-2	移動体間端未協同衛星測位技術の研究開発	株式会社国際電気通信 基礎技術研究所	三浦 龍
C-3	オートGPSとIMES屋内測位による広域観光の動態把握と 回遊誘発情報提供システムの開発研究	福岡大学	斎藤 参郎
データ活用			
C-4	遺跡発掘による出土遺物の計測・整理・デジタルアーカイブの研究開発	岩手県立大学	土井 章男
C-5	公共交通案内サービスにおける利用者行動の解析・活用技術の研究開発	鳥取大学	川村 尚生
C-6	認知状態共有による交通事故低減技術の研究開発	株式会社国際電気通信 基礎技術研究所	内海 章
C-7	サーマルエネルギー変換による熱感覚伝送技術の開発	慶應義塾大学	桂 誠一郎
C-8	人の動きをやさしく支援する地域ITS活用基盤に関する研究開発	九州大学	古川 浩
放送・コンテンツ			
C-9	広視角自由視点映像のための次世代マルチビュービデオ配信・視聴方式	名古屋大学	間瀬 健二
防災			
C-10	地域観光振興と防災に向けデータマイニングを活用した地域情報 プラットフォームとエリアワンセグ配信システムの研究開発	諏訪東京理科大学	三代沢 正
C-11	災害時に活躍する見守り監視に重点を置く情報インフラに関する研究開発	大阪市立大学	鳥生 隆
C-12	地域住民組織による災害時要援護者支援システムの研究開発	宮崎公立大学	辻 利則
14:20~15:10 SCOPE オールラウンドセッションⅣ (各4分)			
世界最高レベルのICTインフラの構築			
C-13	量子情報通信用高効率光子ファイバー直接結合半導体量子ドット単一 光子源の研究開発	北海道大学	熊野 英和
C-14	匂いイメージセンサによる情報創出に関する研究開発	九州大学	林 健司
C-15	超低消費電力シリコン細線MEMS可変光回路の研究開発	東北大学	羽根 一博
C-16	キャッシュ指向ネットワークアーキテクチャ (CONA; Cache-Oriented Network Architecture)の研究開発	東京大学	中尾 彰宏
C-17	単一モード共鳴光散乱過程による高純度単一光子源の研究開発	早稲田大学	青木 隆朗
C-18	光周波数同期フォトニックネットワークの概念実証と 当該ネットワークにおける高コヒーレンス光通信技術の研究開発	大分大学	古賀 正文
C-19	100Gbit/s超級SiGe光変調器の研究開発	東京大学	竹中 充
C-20	注意を向けた先の音を聴く:ブレインマシンインタフェースを 応用した視覚統合技術の研究開発	東京大学	四本 裕子
C-21	共鳴トンネルダイオード発振器の直接ASK変調による大容量テラヘルツ通信	東京工業大学	鈴木 左文
C-22	情報システムの省電力化を実現する次世代ネットワーク管理技術の研究開発	東北大学	白鳥 則郎
C-23	超低消費電力組み込みソフトウェアプラットフォーム: TK-SLP (T-Kernel Super-Low Power)の研究開発	株式会社 情報システム/カーボ	坂村 健
C-24	フレキシブル・グリッド型光ノードシステムの研究開発	Santec株式会社	上原 昇

●当日の発表者は、研究代表者と異なる場合があります。またプログラムは変更の可能性があります。●SCOPEオールラウンドセッションⅠ~Ⅳの研究開発課題については、10:45~15:40においてオールラウンドセッションと同会場にてポスターセッションを行います。
●ICT重点技術の研究開発の成果については、オールラウンドセッションに加えてフワイエにてパネル展示等を行います。